

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		林道整備事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040901000799	
総合計画の施策名		0409 自然環境の保全				単独/補助		050101	
政策名		04 快適で潤いのある生活環境づくり				継続		所属課 農林課	
施策名		09 自然環境の保全				主要事業		対象外	
基本事業名		01 森林及び里山の保全				市長マニフェスト		対象外	
						未来PJ事業		対象外	
						合併建設計画事業		対象外	
						事業期間		グループ 農林G	
予算科目		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (年度~)			
会計		一般会計				林道整備事業			
款		01 06 02 03 01 00				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
項									
目									
事業									
細									
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<ul style="list-style-type: none"> 林道の路肩や路面の決壊等が発生した場合、改良事業として県に申請し、整備を行う事業である。 また、開設林道の維持管理を実施している事業である。 		<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所の現地確認 県への補助申請 工事の設計および発注 工事管理 県への実績報告 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
工事実施箇所 ・県単 林道改良工事 (酒寄線) L=77.6m ・県単 林道改良工事 (丸山線) L=50m測量 ・県単 林道舗装工事 (端上線) L=67.8m ・災害復旧工事 (丸山線) L=23m	工事実施箇所	箇所	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	工事実施延長	m	282.40	168.40	62.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市内林道	林道の総延長	m	14,441.00	14,441.00	14,441.00	14,441.00	14,441.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
未整備箇所の舗装及び改良	舗装率	%	22.70	23.86	24.29	24.98	25.67
	改良率	%	30.90	32.06	32.52	33.21	33.90
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	5,852	5,528	4,260	4,000	4,000	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	9,424	8,309	6,811	11,300	11,300	0
	事業費計 (A)	15,276	13,837	11,071	15,300	15,300	0	
人件費	量	正規職員従事人数	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	990.00	597.00	650.00	650.00	650.00	
		人件費計 (B)	2,872	1,732	1,886	1,886	1,886	
トータルコスト (A)+(B)			18,148	15,569	12,957	17,186	17,186	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	金額	比率	比率	金額	比率	比率
11 需用費	337			380		
12 役務費	52			61		
13 委託料	2,452			540		
14 使用料及び賃借料	246			240		
15 工事請負費	9,576			8,700		
16 原材料費	694			700		
19 負担金補助及び交付金	480			450		
合計			13,837			11,071

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	林道整備事業	事務事業No.	40901000799	所属課	農林課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 端上線の舗装工事は、平成9年度から地元要望により着手された事業である。 酒寄線及び丸山線の改良工事は、豪雨災害や路肩崩落に伴う改良事業である。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 端上線舗装工事の早期完成が望まれている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当初からの目的は、継続事業として進行し達成されている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 林道は公共道路の役割も担うため、事業を市で実施することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 林道整備に必要な道として、また生活道や森林浴ができる効率的な森林施行に重点を置いた林道整備が必要になってくる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 森林や林道が荒廃し、通行に危険が生じる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がなく統廃合や連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 地元要望もある中で、県と協議しながら必要最低限の事業費で継続して事業を行っており、これ以上の事業費削減は難しい。人件費については、現場確認にも時間がかかる場所で、また設計も委託し最低限の業務時間で事業を行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 林道の改良事業に関しては地元要望によって着手しているが、用地や補償費については無償で協力することが整備の条件となっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 現在の林道整備の目的は、観光及び生活道路としての役割が重要視されている。今後は効率的な森林施業に重点を置いた林道整備が以前にも増して求められている。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 林道の役割を見直し、事業の方向性を検討する。効率的なアクセス道路としての役割を検討していく必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
--	---